





エコアクション21の導入の背景

1. 自動車販売・整備業等の事業全でを通じて環境に優しい企業を目指す。コンプライアンス遵守・同じ目的を全社員で共有し取り組む。

2. メーカー(マツダ株式会社)からの要請。社会的使命・ブランドイメージの向上

販売会社表彰基準にエコ21取得が条件に

エコアクション21の導入へ (2011年7月〜)
1. 準備〜導入ステージ(2010年7月〜)
①実施体制の構築
②自己チェックシステムの構築
③環境方針の作成
④環境関連法規のとりまとめ
⑤環境目標・活動計画の策定

<u>エコアクション21の導入へ</u> (2011年7月~)

2. 導入ステージ(2011年7月~2014年6月)

1課題

店舗・スタッフ間での意識の格差が大きい 意識の低い店舗では、代わりに本部(本社) が店舗の実績集計もやることに・・・

準備不足?周知不足?フォロー不足?

1

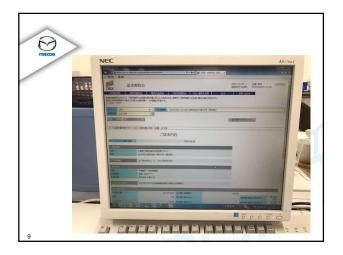


②反省点

- ・店舗の負担が大きいのでは?(実績入力)
- ・審査前だけの店舗フォローでは周知に限界 があるのでは?
- ・人事異動等で担当者・役割が変更になった 場合に、引継ぎが上手く行なわれていない。



- 3. 改善ステージ(2014年7月~2017年6月) 改善策の意見出し・実行
- ①店舗の作業負担の軽減へ
 - ・電気使用量の把握の簡略化(WEB化) 以前は電気メーターを目視していた。
 - →検針票→WEB明細の導入 (東京電力・オリックスのWEBサービス) 過去の電気使用量、使用量の推移がいつ でも見ることが出来る。







・マニフェストの電子化

電子マニフェストへの移行により事務処理 が合理化され、労務の削減につながりました。また店舗だけでなく本社でも管理状況 が把握出来て、マニフェストの紛失や記入 漏れ等が無くなりました。



0

②定期的な店舗フォロー

・3ケ月毎に帳票入力のチェック

実績入力の遅れが無いかをチェックし、改善されるまでをフォローする。

- ・内部統制社内監査時に進捗状況を確認 する仕組みを作った。
- ・油水分離槽・業務用エアコンの定期点検 は本部への報告事項とし点検実施漏れが 無いようにした。

12

・担当者変更の際のフォロー(異動等) 拠点長・サービスマネージャー・事務員が 変更になった際には、店舗へ訪問し新任 のスタッフへの指導を行っている。 月1回開催の拠点長会議、年1回開催の 全社員大会にて、情報発信を行なってい る。



・工場へのガス空調 (エアコン) の導入



②PDCAサイクルを回す。
取組方針と目標を定める。(P)
目標を達成するため体制を整備し、必要な取組を行う。(D)
仕組みの運用状況や目標の達成状況を把握、確認する。(C)
改善し、定期的に見直す。(A)

取組の継続的な改善を図る。



